



東京都立

八王子南特別支援学校 学校だより

令和7年9月8日発行 第5号

八王子市鍵水2-8-8-1

電話 042-675-8373

発行者 校長 濱辺 清

平和について

校長 濱辺 清

毎日が猛烈に暑い夏休みが終わり、2学期がスタートしました。まだまだ暑い日が続いています。

今年の夏休みは、戦後80年を特集にしたテレビ番組や戦争と平和に関するニュースが多く放送されていました。1945年(昭和20年)8月15日に日本は終戦を迎えました。それからの戦後の日本は、戦争を知る人たちが「二度と戦争をしてはならない」という強い信念をもって、平和な国をつくってきました。しかしながら、世界を見ると今でも戦争や争いごとが続いています。その多くの戦争や争いごとは、資源や土地の奪い合い、宗教や民族、思想の違いによる対立、国の内部の政治争いなど、さまざまな原因が重なり、複雑になって起こっています。また、始まってしまった戦争を終わらせることに、非常に時間がかかっています。私たちは過去の歴史から学び、「平和な社会」を作るために何ができるのか考えていきたいと思います。身近なところから、自分だけでなく、みんなが幸せになれるような行動をする人が増えれば、少しずつ平和な世界に近づいていきます。本校の生徒には、クラスメイトや周りの人などに目を向け、「つらい思いをしている人はいないかな」、「困っている人のために何ができるかな」と他の人を思いやる気持ちを考えてもらいたいと思いました。

2学期は行事の多い学期です。一步步づつ着実に生徒が成長していく機会でもあります。保護者の皆様には、本校の教育活動を見ていただく機会になります。ぜひ、率直な御意見や御感想を寄せていただければ幸いです。

2学期 始業式

主幹教諭 山之内 勇人

2学期が始まりました。9月1日(月)の1時間目は、体育館で始業式を行いました。式典には厳粛な雰囲気求められます。式の開始前、並んでいる列の前後左右の間隔を整え、式に臨む気持ちを整えました。式典の20分間は起立した状態でしたが、式が終了するまで生徒は姿勢を崩すことはありませんでした。

式の中では、校長先生から、挨拶や返事が大切であるという話がありました。さらに、2年生の修学旅行先である、高知県の出身で、「アンパンマン」の作者である、やなせたかしさんの次のような言葉が紹介されました。「それぞれが自分にできることをやる。そうしたことが積み積み、社会をよい方向に動かしていく。」どんなことでも自分にできることをきちんとやりましょう。そのことが社会を良くするのですね。

次に、生徒の活動報告がありました。運動部の生徒がバスケットボール大会とフットサル大会に出場しましたが、その生徒が試合に臨む動画が壇上スクリーンに映し出され、その活躍ぶりが紹介されました。そして、令和7年度東京都特別支援学校第34回総合文化祭のポスター・リーフレット原画部門に入賞した本校生徒の作品が紹介されました。壇上スクリーンに大きく映し出された作品について、見所や工夫した点を生徒自身が紹介しました。

次に、校歌を元気に歌い、生活指導部主任の話を聞いて、始業式を終えました。

2学期は宿泊行事やはちなんピックなど行事がたくさんあります。様々な学習に取り組み、たくさんできることを増やしましょう。皆さんの活躍を期待しています。

※令和7年度東京都特別支援学校第34回総合文化祭は、令和8年1月23日(金)から27日(火)まで、東京芸術劇場にて開催され、本校生徒の入賞作品も展示されます。どうぞ総合文化祭にて実際の作品を御覧ください。